園芸学会中四国支部 令和5年度プログラム

果樹部会(9:00～11:05)

9:00-10:00 座長 浜田 和俊 (高知大農林海洋科学部)

1. 9:00 炭酸ガス発生型脱酸素剤を用いたカキの個包装脱渋法
○山﨑安津[1*]・岩本一[2]・濱田賢二郎[2]・伊東明子[1]
([1]農研機構果樹茶部門, [2]第一包装㈱, *高知農技セ果樹試)

2. 9:15 植物生育調整剤処理法の違いがブドウ‘神紅’の果実品質および果梗の破断強度に及ぼす影響
○片寄志帆・栂野康行 (島根農技センター)

3. 9:30 ビワキジラミに対する防除は摘果前より摘果後の効果が高い
○秋山晃輝・久保雅秀・山下泰生(香川農試府中果樹研)

4. 9:45 モモの摘花芽および摘果における熟練生産者の視線の動きの特徴づけ
○福田文夫[1]・松田早恵[1]・河井崇[1]・平野健[1]・上野秀剛[2]
([1]岡山大院環境生命自然科学研究科, [2]奈良高専情報工学科)

(休憩・換気 5分)

10:05-11:05 座長 福田 文夫 (岡山大院環境生命自然科学研究科)

5. 10:05 赤外線暗視カメラと 3D-LiDAR を利用したウンシュウミカンおよびカキ樹の剪定量推定法
○浜田和俊[1]・砂川理彩[1]・栗原徹[2]([1]高知大農林海洋科学部, [2]高知工科大情報学群)

6. 10:20 中晩生カンキツ‘せとみ’における熟期促進技術の開発
○西岡真理[1]・岡崎芳夫[1]・中島勘太[2] ([1]山口農林総技セ, [2]山口柳井農林水産)

7. 10:35 高知県におけるパパイア品種の栽培特性
○谷本佑[1,2] ([1]高知農技セ果樹試, [2]高知工科大院工学研究科)

8. 10:50 熱帯果樹葉茶の商品化の可能性
○熊倉杏純[1]・松本敏一[2] ([1]島根大院自然科学研究科, [2]島根大生物資源科学部)

11:50 ～ 12:20 総 会

野菜部会（9:00～11:40）

9:00-9:45 座長 西村 安代（高知大農林海洋科学部）

1. 9:00 LCI を用いたショウガ乾物率推定の基礎的検討
○久保田雄斗[1]・大﨑佳徳[2]・糸川修司[2]・栗原徹[1]（[1]高知工科大学院工学研究科，[2]高知農技セ）

2. 9:15 アスパラガス高畝栽培における春季畝保温方法が春芽の収穫開始時期に与える影響
○髙祖崇好・椋重芳（島根農技セ）

3. 9:30 低温伸長性に優れるアスパラガス品種のハウス長期どり栽培における収量および品質
○小林賢吾[1]・坂本隆行[1]・甲村浩之[2]（[1]広島総研農技セ，[2]県立広島大学生物資源科学部）

（休憩・換気 5分）

9:50-10:35 座長 片岡 圭子（愛媛大院農学研究科）

4. 9:50 盛夏期のキャベツ苗定植時に生じる葉の白化を引き起こす環境要因の切り分け
○鳥越胡美[1]・熊谷和樹[2]・吉田裕一[2]・安場健一郎[2]・北村嘉邦[2]・後藤丹十郎[2]・元木航[2]
（[1]岡山大農学部，[2]岡山大院環境生命自然科学研究科）

5. 10:05 移植機の移植深さ設定がサツマイモの初期生育と収量に及ぼす影響
○村井恒治[1]・篠原啓子[1]・鈴江康文[1]・市瀬裕樹[1]・村並昌実[2]（[1]徳島農総技セ，[2]井関農機㈱）

6. 10:20 促成ナスつる下げ誘引栽培の生育，収量，労働特性
○篠田翔真[1]・永尾航洋[1]・山﨑浩実[1]・西村宙晃[2]（[1]高知農技セ，[2]ゆめファーム全農こうち）

（休憩・換気 5分）

10:40-11:40 座長 浅尾 俊樹（島根大生物資源科学部）

7. 10:40 イチゴにおける花粉数の季節変化と品種間差
○植松菜月[1]・吉田裕一[2]・安場健一郎[2]・山崎彬[3]・村井恒治[1]
（[1]徳島農水総技セ，[2]岡山大院環境生命科学研究科，[3]近畿大農学部）

8. 10:55 イチゴ親株の低温遭遇量の違いが子株の花成に与える影響
○菅原丈志・片岡圭子（愛媛大院農学研究科）

9. 11:10 低温下における非辛みシシトウ品種の花粉稔性予備調査
○尾崎耕（高知農技セ）

10. 11:25 低夜温管理における非辛みシシトウの生育・収量特性
○橋本明広[1]・谷内弘道[2]・山﨑浩実[1]（[1]高知農技セ，[2]高知県農業担い手育成センター）

11:50 ～ 12:20 総 会

花卉部会（9:30～10:50）

9:30-10:15 座長 中野 道治（高知大農林海洋科学部）

1. 9:30 鉢物アジサイの日持ちに及ぼす観賞中の光量および気温の影響
○加古哲也･北川絵理･伊藤志穂（島根農技セ）

2. 9:45 デルフィニウムエラータム系品種の育苗中の抽苔および切り花品種に及ぼすセルサイズの影響
○河合実花･北村嘉邦･安場健一郎･吉田裕一･後藤丹十郎（岡山大院環境生命自然科学学域）

3. 10:00 *In vitro* におけるキンリョウヘン（*Cymbidium floribundum*）の器官形成に及ぼす培地中のクエン酸の影響
○アンジェム フェルダス オナ[1]･島崎一彦[2]
（[1]愛媛大院連合農学研究科，[2]高知大農林海洋科学部）

（休憩・換気 5分）

10:20-10:50 座長 中務 明（島根大生物資源科学部）

4. 10:20 DNA 多様性解析に基づくキクタニギク日本在来系統の識別
○中野道治[1]･谷口研至[2]･草場信[2]（[1]高知大農林海洋科学部，[2]広島大院統合生命科学研究科）

5. 10:35 サクラの早期開花における自発休眠と *DAM* 遺伝子発現との関係性
○志水真子[1]･内藤光志[2]･浅尾俊樹[2]･田中秀幸[2]
（[1]島根大院自然科学研究科，[2]島根大生物資源科学部）

11:50 ～ 12:20 総 会